



2020年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月7日

上場会社名 工藤建設株式会社

上場取引所 東

コード番号 1764 URL <https://www.kudo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 工藤 英司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 秋澤 滋

TEL 045-911-5300

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年6月期第2四半期 | 7,344 | 19.5 | 70 | 85.5 | 31 | 93.3 | 29 | 90.0 |
| 2019年6月期第2四半期 | 9,121 | 31.3 | 487 | 959.9 | 469 | | 293 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年6月期第2四半期 | 25.68 | |
| 2019年6月期第2四半期 | 226.50 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年6月期第2四半期 | 14,711 | 3,786 | 25.7 |
| 2019年6月期 | 13,085 | 3,953 | 30.2 |

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 3,786百万円 2019年6月期 3,953百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年6月期 | | | | 180.00 | 180.00 |
| 2020年6月期 | | | | | |
| 2020年6月期(予想) | | | | 100.00 | 100.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,235 | 2.4 | 635 | 42.7 | 540 | 48.6 | 340 | 51.2 | 298.36 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、社内の業績管理を通期ベースで実施いたします。従って、業績予想についても通期で開示しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年6月期2Q | 1,331,220 株 | 2019年6月期 | 1,331,220 株 |
| 期末自己株式数 | 2020年6月期2Q | 189,496 株 | 2019年6月期 | 189,495 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年6月期2Q | 1,141,725 株 | 2019年6月期2Q | 1,296,815 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第2四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績は高い水準にあるものの、輸出が弱含みで推移し一部の製造業で減益傾向が顕著になるなか、政府による経済・金融施策を背景に、雇用情勢・所得環境の改善が継続し個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復が続きました。しかしながら、長期にわたる米中貿易摩擦問題など世界経済は不確実性を増しており、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向や国内で相次いでいる自然災害による影響など、景気の先行きに留意が必要な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共投資、民間投資ともに堅調に推移しているものの、施工管理者及び建設労働者不足が続いていることに加え、受注競争の激化等厳しい環境が続いております。

住宅業界におきましては、政府による住宅取得支援策が継続しており、住宅ローン金利が低い水準を維持したものの、持家の着工戸数は横ばいで推移し、貸家の着工戸数は緩やかに減少しております。

介護業界におきましては、引き続き介護サービスの需要が高まる中、介護施設の整備・増設や、政府による介護職員の処遇改善に対する予算を策定する等の対策が行われておりますが、サービス業を中心とした人手不足が続いており、介護職員の安定確保が経営上の最重要課題となっております。

このような情勢のなか、当社は、神奈川・東京を中心とした営業エリアにおいて、お客様の感動を創造し、人生のさまざまなステージを支える生活舞台創造企業を目指して事業展開を図ってまいりました。

この結果、第2四半期累計期間における業績は、売上高73億44百万円（前年同期比19.5%減）、営業利益70百万円（前年同期比85.5%減）、経常利益31百万円（前年同期比93.3%減）、四半期純利益29百万円（前年同期比90.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、セグメント利益は四半期損益計算書における営業利益に対応しております。

<建設事業>

建設部門においては、当期の完成予定物件の竣工引渡し時期が下期に集中していることにより、完成工事高・完成工事総利益ともに前年同期実績を大幅に下回りました。

以上の結果、住宅部門を合わせた当事業の売上高は29億76百万円（前年同期比44.3%減）、営業利益は1億39百万円（前年同期比66.8%減）となりました。

<不動産販売事業>

当第2四半期における不動産部門に係る売上はございませんでした。

（参考：前年同期も売上はございませんでした。）

<建物管理事業>

建物管理部門では、消費増税前の室内改修を中心とした大規模修繕工事の完工が順調でした。しかしながら、サブリース物件でのテナント入替に伴う転貸損失引当金の追加計上が1億24百万円発生したため、営業利益は前年同期実績を大きく下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は18億91百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益は34百万円（前年同期比77.8%減）となりました。

<介護事業>

介護部門では、収益向上を目的に不採算施設の閉鎖を決定し、閉鎖に伴い発生が見込まれる損失について事業所閉鎖損失引当金24百万円を計上しました。その他の有料老人ホーム15施設については、入居者数が年度計画に比較して順調に推移しました。

以上の結果、当事業の売上高は24億76百万円（前年同期比36.0%増）、営業利益は1億81百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における資産の残高は、147億11百万円(前事業年度末残高130億85百万円)となり16億26百万円増加しました。その主な要因は、未成工事支出金が9億65百万円増加、現金及び預金が3億49百万円増加したことにあります。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は、109億24百万円(前事業年度末残高91億31百万円)となり17億92百万円増加しました。その主な要因は、短期借入金が7億6百万円増加、未成工事受入金が10億12百万円増加したことにあります。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、37億86百万円(前事業年度末残高39億53百万円)となり1億66百万円減少しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金同等物は、前事業年度末と比べて1億64百万円増加し、17億75百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、31百万円(前年同期は5億47百万円獲得)となりました。主な増加要因は未成工事受入金の増加額10億12百万円、主な減少要因は未成工事支出金の増加額9億65百万円であります。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億64百万円(前年同期は3億21百万円使用)となりました。主な減少要因は定期預金の預入による支出1億84百万円、差入保証金の差入による支出1億50百万円であります。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、4億98百万円(前年同期は3億75百万円獲得)となりました。主な増加要因は長期借入れによる収入4億50百万円、短期借入金の増加額7億6百万円であり、主な減少要因は長期借入金の返済による支出3億99百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点では当社を取り巻く今後の経済情勢及び、市場動向が不透明な為、通期業績予想の修正はしておりませんが、今後随時見直しを進め、適時適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2019年6月30日) | 当第2四半期会計期間 (2019年12月31日) |
|----------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 2,989,551 | 3,338,908 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 1,054,121 | 1,128,358 |
| 未成工事支出金 | 507,456 | 1,472,553 |
| 不動産事業支出金 | 198,232 | 198,232 |
| 貯蔵品 | 42,183 | 46,701 |
| その他 | 369,670 | 499,671 |
| 貸倒引当金 | △2,516 | △2,317 |
| 流動資産合計 | 5,158,699 | 6,682,109 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 1,945,680 | 1,945,680 |
| その他(純額) | 1,554,076 | 1,511,149 |
| 有形固定資産合計 | 3,499,756 | 3,456,829 |
| 無形固定資産 | | |
| 無形固定資産合計 | 240,239 | 220,268 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 3,525,615 | 3,668,845 |
| その他 | 663,102 | 685,159 |
| 貸倒引当金 | △1,934 | △1,572 |
| 投資その他の資産合計 | 4,186,782 | 4,352,432 |
| 固定資産合計 | 7,926,778 | 8,029,530 |
| 資産合計 | 13,085,478 | 14,711,640 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 818,553 | 1,052,887 |
| 短期借入金 | 682,000 | 1,388,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 747,848 | 789,498 |
| 1年内償還予定の社債 | 40,000 | 40,000 |
| 未払法人税等 | 292,232 | 66,477 |
| 未成工事受入金 | 1,250,816 | 2,262,922 |
| 完成工事補償引当金 | 65,750 | 64,991 |
| 賞与引当金 | 28,925 | 16,294 |
| 転貸損失引当金 | 15,861 | 32,167 |
| 工事損失引当金 | — | 28,000 |
| 事業所閉鎖損失引当金 | — | 24,057 |
| その他 | 1,304,896 | 1,067,660 |
| 流動負債合計 | 5,246,884 | 6,832,955 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 110,000 | 90,000 |
| 長期借入金 | 1,252,807 | 1,261,487 |
| 預り保証金 | 1,658,547 | 1,807,697 |
| 転貸損失引当金 | 101,928 | 203,963 |
| その他 | 761,792 | 728,813 |
| 固定負債合計 | 3,885,075 | 4,091,961 |
| 負債合計 | 9,131,959 | 10,924,916 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2019年6月30日) | 当第2四半期会計期間 (2019年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 867,500 | 867,500 |
| 資本剰余金 | 549,500 | 549,500 |
| 利益剰余金 | 3,025,553 | 2,849,357 |
| 自己株式 | △496,318 | △496,320 |
| 株主資本合計 | 3,946,234 | 3,770,037 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,283 | 16,686 |
| 評価・換算差額等合計 | 7,283 | 16,686 |
| 純資産合計 | 3,953,518 | 3,786,723 |
| 負債純資産合計 | 13,085,478 | 14,711,640 |

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日) | 当第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | | |
| 完成工事高 | 5,947,289 | 3,492,718 |
| 不動産事業等売上高 | 1,353,712 | 1,375,663 |
| 介護事業売上高 | 1,820,818 | 2,476,589 |
| 売上高合計 | 9,121,820 | 7,344,972 |
| 売上原価 | | |
| 完成工事原価 | 5,122,374 | 2,972,798 |
| 不動産事業等売上原価 | 1,174,885 | 1,295,784 |
| 介護事業売上原価 | 1,606,411 | 2,214,817 |
| 売上原価合計 | 7,903,671 | 6,483,400 |
| 売上総利益 | | |
| 完成工事総利益 | 824,914 | 519,920 |
| 不動産事業等総利益 | 178,826 | 79,879 |
| 介護事業総利益 | 214,407 | 261,771 |
| 売上総利益合計 | 1,218,148 | 861,571 |
| 販売費及び一般管理費 | 730,785 | 791,106 |
| 営業利益 | 487,363 | 70,465 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,214 | 2,183 |
| 受取配当金 | 4,679 | 5,073 |
| 助成金収入 | 3,530 | 2,626 |
| その他 | 4,035 | 2,551 |
| 営業外収益合計 | 14,460 | 12,434 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 25,945 | 48,399 |
| その他 | 6,032 | 2,871 |
| 営業外費用合計 | 31,977 | 51,271 |
| 経常利益 | 469,846 | 31,628 |
| 税引前四半期純利益 | 469,846 | 31,628 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 166,045 | 9,753 |
| 法人税等調整額 | 10,069 | △7,439 |
| 法人税等合計 | 176,115 | 2,313 |
| 四半期純利益 | 293,731 | 29,315 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日) | 当第2四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 469,846 | 31,628 |
| 減価償却費 | 44,930 | 101,674 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 387 | △561 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △15,226 | △12,631 |
| 完成工事補償引当金の増減額 (△は減少) | 5,903 | △758 |
| 転貸損失引当金の増減額 (△は減少) | △7,152 | 118,341 |
| 事業所閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少) | — | 24,057 |
| 受取利息及び受取配当金 | △6,894 | △7,257 |
| 支払利息 | 25,945 | 48,399 |
| 前払年金費用の増減額 (△は増加) | △9,775 | △9,980 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △204,032 | △73,958 |
| 工事損失引当金の増減額 (△は減少) | — | 28,000 |
| 未成工事支出金の増減額 (△は増加) | △534,196 | △965,096 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 217,170 | 234,334 |
| 未成工事受入金の増減額 (△は減少) | 496,451 | 1,012,105 |
| 預り保証金の増減額 (△は減少) | 108,989 | 149,149 |
| その他 | 12,654 | △397,257 |
| 小計 | 605,002 | 280,188 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,758 | 5,162 |
| 利息の支払額 | △26,644 | △48,682 |
| 法人税等の支払額 | △35,615 | △205,641 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 547,500 | 31,026 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 12,000 | — |
| 定期預金の預入による支出 | △173,741 | △184,752 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △54,394 | △25,202 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 609 | 278 |
| 差入保証金の差入による支出 | △100,000 | △150,010 |
| その他 | △5,697 | △4,836 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △321,223 | △364,522 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額 (△は減少) | 544,000 | 706,000 |
| 長期借入れによる収入 | 400,000 | 450,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △428,844 | △399,670 |
| 社債の償還による支出 | △10,000 | △20,000 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △2 |
| 配当金の支払額 | △129,681 | △205,510 |
| リース債務の返済による支出 | — | △32,715 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 375,474 | 498,101 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 601,751 | 164,605 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 821,671 | 1,610,682 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,423,422 | 1,775,288 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度において所得拡大促進税制にかかる法人税等の計上額を誤っていたため、当事業年度の法人税等の金額から39,462千円を控除しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-------------------------------|-----------|-------------|------------|-----------|-----------|-------------|-----------------------------|
| | 建設事業 | 不動産販売 事業 | 建物管理 事業 | 介護事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 5,341,645 | — | 1,959,356 | 1,820,818 | 9,121,820 | — | 9,121,820 |
| (2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 5,341,645 | — | 1,959,356 | 1,820,818 | 9,121,820 | — | 9,121,820 |
| セグメント利益 | 419,740 | — | 154,315 | 166,659 | 740,715 | △253,352 | 487,363 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△253,352千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-------------------------------|-----------|-------------|------------|-----------|-----------|-------------|-----------------------------|
| | 建設事業 | 不動産販売 事業 | 建物管理 事業 | 介護事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 2,976,681 | — | 1,891,701 | 2,476,589 | 7,344,972 | — | 7,344,972 |
| (2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 2,976,681 | — | 1,891,701 | 2,476,589 | 7,344,972 | — | 7,344,972 |
| セグメント利益 | 139,274 | — | 34,276 | 181,537 | 355,088 | △284,623 | 70,465 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△284,623千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。